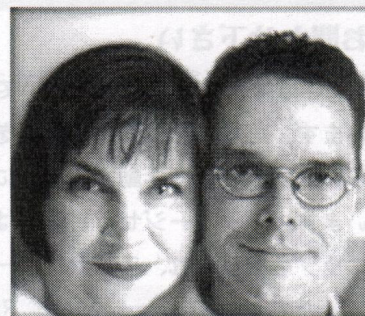


●オーストラリアにおけるレイキ事情

海外からの入会者も増えました。今回はオーストラリアから、新しくメンバーになられた方をご紹介します。

正会員

Frans & Bronwen Stiene



●プロフィール

Frans 氏はオランダ出身、Bronwen 氏はオーストラリアの出身。

1989 年に出会い 7 年間オランダで過ごした後、命とをもって結びつくスピリチュアルな旅に出ようとインドに向かい、カトマンズで西洋式ウスイレイキを習得した。レイキは二人の生き方を一変させ、その後出産のためオーストラリアへ帰り、シドニーでインターナショナル ハウス オブ レイキをオープンしました。Bronwen 氏は Australia's leading Reiki association の副理事長でもある。

Q. なぜレイキを学ぶこととなりましたか？

きっかけについてお聞かせ下さい。

Frans と私がインドを旅行した際に、複数の REIKI を勉強したという方々と出会いました。その後にレイキの先生に出会った時に、REIKI に関する書籍を購入し、REIKI を学ぶことを決心しました。ネパールで REIKI の先生と出会い、そこに 2、3 ヶ月滞在し REIKI を勉強しました。当時は自分たち二人の人生をもっと楽しく、そしてもっとよく理解するための一助となるような何かを探していたと思います。

Q. レイキを活用して上手くいったエピソードを教えてください。

自分たちは REIKI をさまざまな理由で心から愛しています。まず、REIKI により自分たちの人生に新しい次元で物事を感じることができるようになりました。自分たち自身のことを今までスピリチュアルだと考えたことはありませんが、REIKI と関わるようになり、自分たち自身を別な角度から見られるようになりました。人生に対する理解がより豊富になり、REIKI により自分たちの人生、そして自分自身に対する新たな発見ができるようになりました。お互いの興味があることを二人で共有できることは大変運がよかったと思います

し、パートナーとしてより強い絆を深められたことは大変重要であったと感じています。REIKI により二人とも精神的により強く、身体的にはより健康で、今後さらに自分たちの人生に対してより理解がより深め続けることができるようになりました。

時間が経つにつれ REIKI への興味もさらに深まっています。自分たちには 6 歳になる娘がいますが、娘にとって REIKI を生活の一部として育てられて来ることができたということは両親として最高の贈り物だと感じています。また日本の REIKI の教育に関する歴史的観点に関しても興味があり、これまでに二人で合計 5 冊の書籍を出版するに至りました。毎回出版の回を重ねるごとに REIKI に対する興味が益々深まるばかりです。

自分たちは REIKI を専業として教えており、シドニーで REIKI センター、シドニー郊外の山岳エリア BlueMountain でも REIKI センターを運営しています。また毎年アメリカとイギリスでも REIKI を教える機会を設けています。

自分たちにとって REIKI は人生そのものであり、自分たちの関わることはすべて REIKI と何らかの関係を持っています。

Q. オーストラリアのレイキ事情について お聞かせ下さい。

REIKI はオーストラリアにおいて着実に認知が進んでいます。たくさんの方が REIKI を自分たちのため、あるいは師範として活動するために学びたいと希望しています。マッサーセラピストは施術に REIKI のテクニックを取り入れ、スパセンターや美容関係のセラピストたちはオプションとして REIKI をよく利用します。オーストラリアでプロとして活動するためには、保険に加入することが必要です。この保険に加入するための要件として、行動規範・基準が定められた関連連盟・団体の 会員にならなければいけません。有名なところでは、Australian Reiki Connection www.australianreikiconnection.com.au , があり、今年で 10 周年になります。自分たちはこの連盟に会員登録して REIKI で活動する方たちへの教育、支援を活発に行っています。

昨年は国レベルでの統一規則に関し、たくさんの議論がなされました。昨年、REIKI 活動グループの一つが政府に REIKI の認可を取るために活動を行いました。しかしこの許可申請の内容としては、REIKI 活動グループの中でもごく限られた一部（3 種類）しか含まれていません。この観点からオーストラリアでは REIKI で活動する方々がもっと一緒にって働きかける必要があり、国としての統一基準を作成することが必要です。最近になり、あらゆる白井 REIKI 活動をする方々が集まり、オーストラリア REIKI 組織委員会 (the Council of Australian Reiki Organisations www.caro.org.au) が結成され、さらに高いレベルでの国としての統一基準作りの支援活動を始めました。

たくさんの方の REIKI 活動家がホスピスや病院などでボランティア活動していますが、しかしながらこれらの活動においても対価をもらって活動する状態も多分に見受けられます。

個人活動レベルにおいては REIKI を専業として教える師範や先生は多くはいないと思います。

自分たちはある意味この状況に関してもっと改善がな

されるように活動をすべきだと責任を感じています。専業でない REIKI 活動家のほとんどは少なくとも 1 種類以上の他の仕事（会社勤め、あるいは別なエリアでの施術師など）をしているのが現実のようです。何も知らない人は、REIKI と聞くと、何かヒーリングとか癒しといったことは想像できても、実際は何のことかは分からないのがほとんどのようです。将来はもっと REIKI に関して 認知度が上がることを希望しています。

Q. 本協会は協会がどのようなになったら良いと期待しますか？

JHRA へは REIKI が日本発祥ということもあり、国際的な REIKI 活動に興味があったので会員登録させていただきました。

普段から REIKI で活躍される方々と活発に情報交換などを楽しみに行え、自分たちは日本語が話せませんが、さらに JHRA で活躍される既存会員の皆様ともこういった活動を共有し、楽しい時間を過ごせればと心より希望しています。

今回は会員登録を快くご了承いただき誠にありがとうございました。